



税理士の仕事とA-

大田区立貝塚中学校 三年 錦織 聖悟

私の母は、クラウド会計ソフトを販売する会社に勤めています。会計ソフトとは、仕訳から決算書作成、確定申告を行うソフトウェアのことで、主に個人事業主や企業の経理担当者。会計士や税理士が使用していると教えてくれました。私は、初めて「税理士」という仕事があることを知り、どんな仕事をしているのか調べてみることにしました。

税理士とは、国民が国や地方公共団体に納める「税金」に関する専門家です。税金は、学校教育や医療・福祉、警察や消防など、公的サービスをを行うための費用を、国民から集めたお金のことです。「国税」と「地方税」に分かれていて、国税は納税者自身が納める金額を計算して「申告書」と呼ばれる書類を作成し、税務署に申告、納付しなければなりません。でも、申告書の作成は、税金の種類によって計算の仕方が異なるため、複雑で分かりにくい作業です。その作業を、納税者に代わって行うのが税理士です。つまり、税理士の仕事は、国の財政を支える大切な役目を担っていて、税理士がいることで税金が確実に徴収され、社会保障等の制度が充実し、住みやすい社会、豊かな暮らしを守ることにつながっていることが分かりました。また、納税者の思いを聞きながら、経

営についてもアドバイスするなど、良き理解者でもあり、困り事の相談相手でもあるそうです。

また母は、A-が人間の仕事を奪う「A-失業」についても教えてくれました。税理士もA-によって仕事がなくなると言われているそうです。その背景には、母が勤めるようなクラウド会計ソフトの会社の台頭、その普及により、会計業界のデジタル化が急激に進んだことがあります。専門的な知識がなければできなかった税理士の仕事が、A-の力によって、会計ソフトの操作さえできれば、会計業務ができるようになったからとされています。

でも私は、国の財政を支えるという税理士の仕事の重要性から考えても、A-によって税理士の仕事が奪われることはないと思います。A-は優れてもいますが、やはり経験豊富な専門家である税理士の方が相談もしやすいし、信頼できると考えるからです。A-には困っている事を相談すれば解決するための選択肢は与えてくれますが、最終的な判断をするのは人間です。大切なことはどこをA-に任せて、どこを税理士が担当するかを決めることだということを、今回学ぶことができました。

このように私たちの暮らしを支え、重要な役割を担っている「税理士」という仕事を、もっと多くの中学生に知ってもらいたいと思いました。